

偉なる哉兩先輩



兩先輩に續けし

校長メッセージ

校友時報

校部刷
所高人聞所印
行南集新刷堂
發代編南印勝
龍能大

し」の道理いかにすぐれ古來偉人として大きな業績たり。シビック参加により名を残し、世の尊敬を集めて実共に日本の能南校として美功を積まなければ一流の人にいる人は、みなそういう人物にはなれぬ。鍋谷、小野達である。兩君は成程すぐれた素質を両君の出現と機上して、

たの道理いかにすぐれた素質を持つとうが、練磨の力を積まなければ一流の人にはなれぬ。鍋谷、小野両君は成程すぐれた素質を持つている。然し両君の今あるはただ素質だけのものではない。十年になんなんとする絶えざる精進練磨の結果なのである。凡人に到底及ばぬわざである。私はここに両君の偉大さがあると思う。

小野 鍋谷 兩選手の偉業を讃う



人々異つた天分をわかつてこの世に生れて来た。運動にすぐれた人もあれば、学間にひいでた人もある。職業の分野においても、学者、教員、公務員、会社銀行員、医者、弁護士、技術者、芸術家、その他農工商の各方面に、その向まくがある。そこで自分には一体どれ位の力量があるか、心ゆくまで伸ばして見ることとは、何と愉快なことであろう。かくれた素質であります。眠つた天分を探し出し眼覚めさせて、あの競馬うきに手綱をゆるめ鞭をあてて、全速力を出させるように、残りなく能力を働かしたらどう。自分の一生を生きがいあるものとなすのである。昔は大臣、大將になるのが人類社会に貢献することが出来て、その一生を最も價値あるものとなすのである。青年の夢であつた。然し時代は変つた。職業に貴賤はない。公務員、教員、会社員、何でもよい。自分の能力を残りなく傾注し、世の爲人の爲に盡したならそれが人生の成功者なのである。

オリンピック大会は十六年振りで七月十九日より八月三日までの十六日間世界諸国より選ばれた約五千の競技人により、熱戦をくりひろげられるのであります。がこのときに当り本校出身の小野、鍋両君が轡を並べて日本代表選手として今や本国民最大の関心裡に世界各国民注目の内に参加する所以であります。が、東京にする過日郷土母校訪問に市民熱狂の歓迎に帰られたのです。が、その偉容と偉業に接し、只管感激を覚えたのであります。且つて無かつた同一学校一郷士よりのオリンピック選手の出た事は正に举國的のニュースに違いない由来、本校は創立以来体操の能中、体操の能南校として全国津々浦々に知られていてい